

第1回 清和台地区学校のあり方を検討する懇話会 議事録

令和7年4月30日 午後3時～

【『地域説明会での意見等』に対する懇話会メンバーや周りの方の感想など】

＜問＞地域説明会についての感想や、地域説明会後の周りの方々の反応などがあれば、お聞かせください。

- ・学校の規模を考えたときには、子どもの数は多い方がいいと考えているが、説明会に参加して、まちづくりという視点で住民の方の意見を聞くことは大事だと感じた。
- ・自分の子どもに聞いてみたら、「清和台小学校と清和台南小学校の間に新しい学校を建てればいい」と話していた。
- ・清和台小学校と清和台南小学校が統合しても、児童数減少の可能性があり、将来的に再検討が必要な場合があるため、もっと先を見据えた対策を考えるべきとの意見があった。
- ・「統合前提の話ではないか」との意見もあった。
- ・清和台幼稚園近くに引っ越したが、幼稚園がなくなり後悔する声があった。家を買う際に学校の存続情報は早めに知りたいと思う人もいるのではないか。
- ・大規模校の利点を感じるが、小規模でも交互に合同行事をするなどの運営工夫で学校を維持する方法があるのではとも感じている。
- ・保護者の中には、「大人が決めることではあっても、まずは子どもたちの意見を聞いてほしい」との声があった。保護者や子どもの意見を聞くことで、物事を進める手がかりを見つけられるかもしれない。
- ・アンケートで多くの意見が出てまとまりにくいかもしれないが、保護者がどう考えているのかを知ることが次のステップへの手がかりになると考えられる。
- ・何年後に目指す、という方針などは決まっていないのか。

《教育委員会》

⇒令和7年度内に、教育委員会としての方向性を出せればと考えている。

【今後の意見交換の方法に対する懇話会メンバーの意見】

＜問＞地域説明会での「子どもや保護者など、様々な人の意見を聞いて欲しい」という意見を受けて、意見交換会を実施したいと考えています。多くの参加者が見込め、また多様な意見が集まるか、皆さまからご意見をお聞かせください。

(1) 児童との意見交換の方法に対して

- ・説明にあったように、授業のような方法で、まずは子どもが考えを深められるようにすることはいいと思う。
- ・子どもに統合について尋ねると、自分の子どもはそれぞれ、「友達が増えるからいい」「知らない人がいるから嫌だ」と言っていたが、イメージを持つことが難しいと感じた。
- ・子どもにとって、みんなの前で発表することはハードルが高いため、たとえばグループで話し合う形式が適していると思う。
- ・授業の内容が4年生に理解できるか不安であり、内容をしっかり教えた上で意見交換をしてほしい。
- ・子どもは教えられたことを素直に受け入れることがあるため、自発的にこの問題を考えられるように進めるのが良いと思う。
- ・子どもたちは人数が少ない状況にそれほど困っていないと感じるため、複数クラスがある際の関わり

合いについて深く考えるのは難しいかもしれない。

- ・意見交換の切り口が難しいため、何について話し合うのが課題となる可能性がある。

《教育委員会》

⇒感覚的な判断ではなく、子どもも大人と同じ視点で考えるべきではないか。自身の経験だけに基づくのではなく、課題に関する学びの場を提供して意見を聞くことが重要。例えば、より小規模の学校や統合した学校の子供達にオンラインで直接意見を聞くことなども可能である。話し合いでは、学びの場として捉えることが大切で、どちらかに意見を決める必要はないと考えている。子どもの視点を学校のあり方の検討に取り入れて考えることは大切なこと。大人が誘導するのではなく、考える材料を提供することが大事である。懇話会の方々には、学びの場に同席してアドバイスをいただけるとありがたい。

(2) 小学校の保護者との意見交換の方法に対して

- ・働いている家庭が多く、集まりは難しいが、1ヶ月前くらいに日程が決まれば休みの調整が可能かもしれない。
- ・小さいお子さんがいる家庭は午前中の方が集まりやすいが、最適な時間帯は判断が難しい。
- ・意見を言いたい人は直接集まって話したいと考えているため、事前に日程を設定し、参加できる人だけに来てもらう形で始めるのが良いのではないかな。
- ・開かれた場所では緊張するため発言できる人が限られ、意見を言うと思うられるかを心配する人もいる。
- ・集まりが難しいため、選択式と自由記述欄を備えたスマホ対応のアンケートが効果的かもしれない。
- ・ミマモルメのアンケートは件数が多く文字が小さいため、埋もれやすく回答を諦めることがある。

(3) 就学前の保護者との意見交換の方法に対して

- ・サークル参加者は横のつながりがあるが、その他の人はつながりを持ちにくい。
- ・市の広報誌を使うのは良いが、清和台地区に限定されるため難しいかもしれない。
- ・市が対象世帯を把握し郵送で知らせる方法ができるなら、それが良いのではないかな。
- ・小さい子どもがいる家庭は土日の方が参加しやすく、託児施設があるとさらに良い。
- ・就学前の保護者はイメージをつかみにくいため、小学校の保護者と一緒に意見を聞くことは貴重だと感じる。

【その他、懇話会メンバーの意見】

- ・保護者は学校規模を検討する学校のあり方に関する話が出ていることを知っているのか。運営協議会や説明会に参加している方々は知っているが、興味を持っていない人はこの話が出ていることすら知らないのではないかな。
- ・話を知らない人がいるので、アンケートや意見交換前に周知が必要。知らないままではアンケートや意見交換が無意味になる可能性がある。
- ・手元に資料があれば目を通すが、個人が市のホームページを見ることは少ないため、まずこの話題を広く知らせる必要がある。
- ・親が話題を知らないと、家庭内で話し合いができず、子どもも授業で理解できない可能性がある。
- ・一部の保護者は「既に決まっていることを進めるだけではないか」と感じているため、説明会に来ない人もいる。意見がどこまで反映されるか疑問を抱いている。
- ・説明会への参加者が少ないのは関心が薄いのか、自分の子どもが卒業するので問題ないと思っているからかもしれない。

《教育委員会》

⇒教育委員会から文書を発行し、過去の資料のQRコードを記載したり、説明会の資料を配付したりするなどして、再度周知を図る。

- ・清和台小学校と清和台南小学校の最新の児童数を教えて欲しい。

《教育委員会》

⇒R7 年度 清和台小 1 年生 29 人、2 年生 25 人、3 年生 32 人
4 年生 27 人、5 年生 25 人、6 年生 27 人 計 178(13)人
R7 年度 清和台南小 1 年生 29 人、2 年生 24 人、3 年生 28 人
4 年生 23 人、5 年生 37 人、6 年生 35 人 計 188(12)人

※合計人数は、()内の特別支援学級在籍の児童数を含みます。

- ・清和台小学校と清和台南小学校を統合すると、どのくらいの規模の学校になるのか。

《教育委員会》

⇒合わさると 1 学年 2 クラスとなる。

- ・けやき坂小学校も児童数が減少しているようだが、小中一貫校の議論になった場合、話の進行途中でけやき坂小学校を巻き込むと、議論のスタート地点が変わる可能性を懸念している。けやき坂小学校の運営協議会の方に加わってもらったり、けやき坂小学校の地域に説明に行くことも考えられるのか。

《教育委員会》

⇒地域と検討を始める条件は、2 年連続で単学級になった場合としている。けやき坂小学校は現時点ではこの条件に当てはまらないため、地域に説明を行う予定はない。

ただし、そのような話が出た場合には、コミュニティと話を進めたいと思っている。けやき坂小学校は令和 8 年度には単学級が発生する可能性がある。将来を考える際には、地域全体で考える必要があると考えている。

- ・けやき坂小学校の児童が清和台まで来ることになると、距離がさらに遠くなるため、より難しいのではないか。
- ・保護者としては、近くて通いやすい学校を希望しており、統合する場合は通学距離が最大の懸念事項である。

《教育委員会》

⇒過去に地域の保護者から「通学が一番大きな問題」と言われたことがあるため、通学の方法を含めて話し合いを進めていかなければならないと考えている。統合という問題に対しての不安なのか、通学距離に関する不安なのかは、しっかりと分けて話し合っていく必要がある。